

企業の与える印象と、人的資本経営や時代の変化への対応に関する調査

2022年4月22日に適性検査で国内初、人的資本経営の「ジョブ型」と「ウェルビーイング」の実現に直結し

- 職種別に「ビジネスマインド適性/不適性」が把握できる「Value CHART（バリューチャート）」
- 働き方とキャリア志向を詳細把握し、選考を行いつつ志望度を上げる「I-chart（アイチャート）」

という全く新しい2つの適性検査をリリースする人間能力開発機構は、下記の調査を行いました。

調査結果エグゼクティブサマリ

以下2つの調査より、下記のことを推論できる。

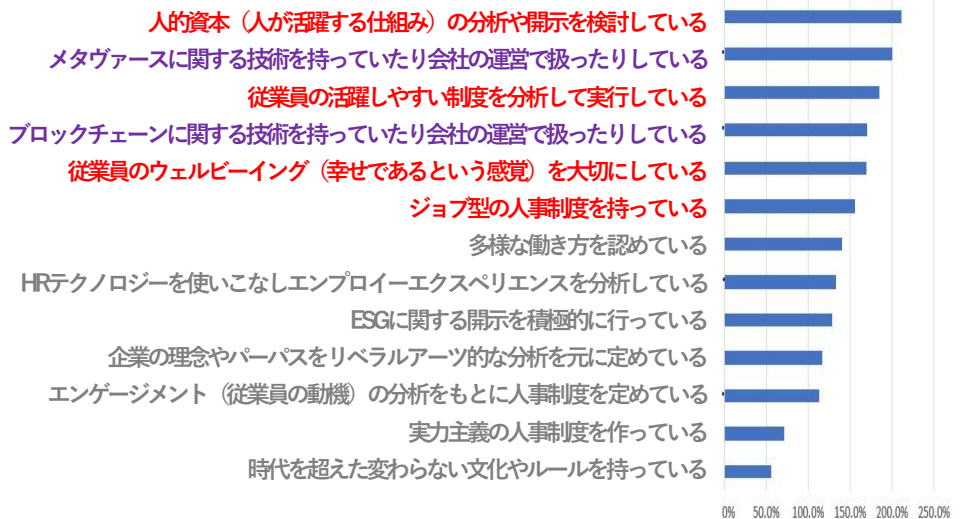
- ・人的資本の分析等の方法で、人の活躍を可能にする育成や採用の制度を整備し信頼感ある方法で広報を行う企業は先進性や魅力が高く、入社意向も高まりやすい。
- ・メタヴァースやブロックチェーン等の技術導入により先進的なイメージが強まる。

①人的資本を整備する等、人の活躍の工夫が最も「先進的」な度合い（存在数に対するイメージの高さの割合）が高く、メタヴァースやブロックチェーンなどの技術導入が次順位である

調査の概略

・過去3か月の主要なニュース報道やWEB発信記事を言語解析し「企業の新しい動き」に該当するトピックを抽出

・現時点で、勤務していたり、勤務している人と話したり、取引先で会ったりする企業に存在するか／「先進的な企業」に当てはまるイメージはどれかを複数選択可とし、先進的な度合いを計測



②社会的な信頼感のある企業、働く人を尊重する企業、時代の変化への柔軟性が、この順で入社意向に繋がりがやすいイメージだと思われる

「入社したい魅力を表す企業のイメージ」の選択順位で上位に来たものを要素解析し、緑色は社会的信頼感、赤色は人の尊重、青色は時代の変化への柔軟性として上位10個を分類しました。

調査の概略

・WEB上のメディア発信記事やホームページ等の、企業に対する言及がある一定量のことを解析し、企業のイメージを表す言語を抽出

・あえて対抗語などを入れ、24項目のワードにまとめ、「入社したい魅力を感じる企業のイメージ」を必須の5個の選択として数量を合計して調査

